児童厚生員等研修体系の基礎研修指定科目 (研修計画ガイドライン)

基礎研修指定科目一覧 (※改正部分下線)

	指定科目名	研修形態	所定時間
理論科目	(1) <u>健全育成</u>	講義	<u>90分以上</u>
	(2) <u>こどもの権利</u>	講義	<u>60分以上</u>
	(3) <u>児童館の機能と運営</u>	講義	90分以上
	(4) <u>児童館の活動内容</u>	講義	90分以上
	(5) <u>こどもの発達理論</u>	講義	90分以上
	(6) <u>配慮を必要とするこどもの支援</u>	講義	<u>90分以上</u>
	(7) <u>こどもの安全対策</u>	講義	90分以上
	(8) 個別援助活動	講義・演習	120分以上
	(9) 集団援助活動	講義・演習	120分以上
	(10) 地域福祉活動	講義・演習	120分以上
実技科目	(11) ゲーム・運動遊び	実技	90分以上
	(12) 表現活動	実技	90分以上
	(13) 救急法	実技	180分以上

主な改正のポイント

こども基本法（令和4年法律第77号）、こども大綱（令和5年）、こどもの居場所づくり指針（令和5年）等関係法令の施行、児童館ガイドライン（令和6年改正）を踏まえ、令和7年度より以下のとおり改正します。

- 「子ども」の表記を「こども」に統一するとともに、「児童」の表記についても差し支えない範囲において「こども」に変更する。
- (旧)「健全育成論」の指定科目名を「健全育成」に改正する。
- 児童館職員がこどもの権利について学習を行うことが児童館ガイドラインに追記（改正）されることを踏まえ、指定科目に「こどもの権利」を新設する。
- 児童厚生員等研修体系（現任者研修）の基礎研修指定科目名を児童厚生員養成校の指定科目名に連動させ、(旧)「児童館論Ⅰ」を(新)「児童館の機能と運営」、(旧)「児童館論Ⅱ」を(新)「児童館の活動内容」と改正する。
- (旧)「児童の発達理論」を(新)「こどもの発達理論」に改正する。
- (旧)「配慮を要する児童の対応」の指定科目を、(新)「配慮を必要とするこどもの支援」に改正し、児童館ガイドラインに示される特に配慮が必要なこどもを支援する内容を盛り込む。
- 実技科目は「ゲーム・運動遊び」「表現活動」「救急法」の3科目を必修とし、選択科目の履修は廃止する。（4科目から3科目の履修とする）

【指定科目名及び所定時間の改正点（新旧対照）】※改正部分下線

新（令和7年度より適用）	旧（令和6年度現行）
健全育成（ <u>90分以上</u> ）	健全育成論（ <u>120分以上</u> ）
<u>こどもの権利</u> （60分以上）	
児童館の <u>機能と運営</u> （90分以上）	児童館論Ⅰ（90分以上）
児童館の <u>活動内容</u> （90分以上）	児童館論Ⅱ（90分以上）
<u>こどもの発達理論</u> （90分以上）	<u>児童の発達理論</u> （90分以上）
<u>配慮を必要とするこどもの支援</u> （ <u>90分以上</u> ）	配慮を要する <u>児童の対応</u> （ <u>120分以上</u> ）
<u>こどもの安全対策</u> （90分以上）	<u>安全指導・安全管理</u> （90分以上）